

(様式5)

令和3年度学校運営協議会委員評価報告書

学校名 湯梨浜町立泊小学校

校長名 栗原 歳盛 印

評価日 令和4年2月26日(木)～ 3月4日(金)	
評価・提言	学校の所見・改善策等
<p>(1) わかる授業の創造と確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none">・「授業研究会を授業力向上に生かした」ことへの教職員評価が高いことは、教育熱を感じる。・児童評価も高いことから児童の前向きな学習への取り組みを感じる。・国語が好きだと感じている児童の増加を見ると校内研究の積み上げが分かる。・「友だちや先生(保育士)の話をしっかり聞くこと」「自分の思ったことを表現すること」など同じ目標を持っていると感じているので小学校とつなげて取り組みたい。・学力テストの結果も分析し、成果と課題をもとにさらに取り組んでほしい。・「A」評価であると捉えるが…4名 <p>(2) 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none">・児童の「あったか言葉」への意識の高まりを感じる。自己肯定感も高まっていくと感じている。・人を思いやる気持ちを持っている子どもたちなので、一人一人の良いところを伸ばしてほしい。・校内での評価が厳しいのか、課題がまだ残っているのか、A評価がないのがどうしてだろう。・地域でのあいさつや言葉遣いが良いと地域も元気が出るので共に取り組んでいきたい。・「A」だと捉えられるが…2名 <p>(3) 健やかな体づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・体育の授業でのサーキット運動など工夫した取り組みがなされている。・食育や健康指導も短時間での取り組みを積み上げているの	<p>○授業研究会を通して、授業改善を目指し、取り組んできた。児童も、職員も肯定的に施策や取り組みを捉えている。しかし、一方で思ったほど、学力テストの結果に反映していないという課題が残った。今後、課題を分析し、さらに改善していきたい。本時目標の明確化、評価と指導の一体化、単位時間での評価等検討し次年度に生かしていきたい。</p> <p>○児童の意識の高まりをさらに実践する力へつなげていきたい。仲間づくりを核として人権教育、学級経営を学校全体として目標を共有し取り組んでいく。</p> <p>○家庭との連携はとても重要だととらえている。常に保護者の思いに耳を傾け、連携して取り組めることを探っていく姿勢が大切。支援会議や懇談等フットワーク良く設定していきたい。</p>

(様式5)

<p>は素晴らしい。</p> <ul style="list-style-type: none">・泊小の給食を通して食育を進めていってほしい。・読書、家庭学習や早寝早起きなどに課題があるようなので、保護者と連携して少しずつでも改善していければと感じる。 <p>(4) ふるさを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・情報発信や外部人材を活用した特色ある教育活動やふるさと教育が効果的に実施できていると思う。・コロナ禍で感染対策も大変な中、地域に出下で、泊ならではの体験ができたこととても良いと思う。・学校の自己評価も肯定的で、創意工夫しながら取り組んだことが分かる。	<p>○地域と「双方向」の連携をさらに探っていきたい。</p> <p>「楽しかった」「泊はすごいなあ」だけでなく、児童が地域にさらに深くかかわったり、地域の願いや思いを生かした体験活動をしたりするなど、計画していきたい。そのための、カリキュラムを構成していく。(総合的な学習、社会、行事、ふるさと学習)</p>
---	---